

第20回 医療的ケア研修セミナーのお知らせ

日本小児神経学会は、社会活動委員会の担当で「医療的ケア講師研修セミナー」を2004年から毎年開催し、その内容をもとに「医療的ケア研修テキスト」を発行してきました。本会は、2009年度より「医療的ケア研修セミナー」と改称され、より多くの方を対象としたセミナーとなっております。第20回は、新型コロナウイルス感染状況に鑑み、Web開催といたします。

期 日	[ライブ配信]2022年11月3日(祝・木) 9:30~17:30 [オンデマンド配信]11月8日(火)~12月31日(土)(予定)	申込受付	2022年8月1日(月)~10月25日(火) ※期間内であっても定員になると締め切ることがあります。
対 象	重症神経疾患児・重症心身障害児(者)等の、医療・療育・教育・通園通所・訪問看護などに携わる、医師・看護師・保健師・理学療法士・作業療法士・言語聴覚士・教員・保育士など	申込方法	一般社団法人日本小児神経学会ホームページ (https://www.childneuro.jp/) から所定のフォームを利用してお申込み下さい。
目 的	家庭・学校・通園通所施設などにおいて、在宅地域生活支援のために「医療的ケア」が拡がりを持ちながら適切に行われるよう、専門職が知っておくべき方法・技術、リスクおよび制度論などの諸問題について研修し、支援者が知識を共有できることを目的とする。	参 加 費	医師7,000円、医師以外の医療従事者・支援者等1,000円、その他(学生等)無料(事前振込み)
主 催	一般社団法人日本小児神経学会	問合せ先	一般社団法人日本小児神経学会事務局 東京都新宿区余丁8-16 ネオメディアトピア4F E-mail:seminar@childneuro.jp Fax:03-3351-4067
共 催	日本重症心身障害学会 一般社団法人日本小児看護学会		第20回医療的ケア研修セミナー会長 亀井 淳 岩手医科大学医学部障がい児者医療学講座
後 援	一般社団法人岩手県医師会、公益財団法人岩手県看護協会、日本小児在宅医療支援研究会、岩手県重症心身障害児(者)を守る会、岩手県小児科医会、日本小児神経学会東北地方会、岩手医科大学医師会、岩手医科大学小児科学講座同門会(順不同)	専 門 医 研 修 単 位	小児神経専門医研修単位5単位 日本医師会生涯教育講座カリキュラムコード 4, 9, 11, 13 合計3単位

プログラム

9:30~9:40 開会のあいさつ 亀井 淳(岩手医科大学医学部障がい児者医療学講座)

9:40~12:10 【シンポジウム】 東北地方における医療的ケア児支援

- 療育センターが担う医療的ケア児者の支援 豊野 美幸(地方独立行政法人 秋田県立療育機構 秋田県立医療療育センター小児科)
- 医療的ケア児・者支援 山形県での取り組み 中村 和幸(山形大学医学部 小児科)
- 青森県における医療的ケア児支援 多職種コンサルテーションチーム活動 網塚 貴介(青森県立中央病院 成育科)
- 地域で取り組む 医療的ケア児の災害対策 笠井 健(北良株式会社)
- 医療的ケア児支援法の施行から考える相談支援 遠山 裕湖(一般社団法人 宮城・仙台障害者相談支援従事者協会 宮城県医療的ケア児等相談支援センター)

12:40~13:30 【教育講演】 小児外科医が関わる医療的ケア

鈴木 信(岩手医科大学医学部外科学講座 准教授)

13:35~16:15 【パネルディスカッション】 家族・きょうだいの思いに寄り添うケア

- 「今まで・これからの息子二人の自立への子育て」(息子は息子・私は私、関わった全ての人に支えられて) 藤村ゆみ子(岩手県重症心身障害児(者)を守る会)
- きょうだいと家族の生きられた体験に心を寄せるといふこと 伊藤 由香(社会福祉法人 新生会 みちのく療育園メディカルセンター 看護部)
- きょうだいとしての経験 ~絵本「みんなとおなじくできないよ」で伝えたかったこと~ 湯浅 正太(一般社団法人 Yukuri-te 代表理事)

16:20~17:15 【日本小児神経学会】 社会活動委員会から

- 全国の学校での医療的ケア実施状況と課題 三浦 清邦(愛知県医療療育総合センター中央病院 小児神経科)
- 小児神経学会社会活動委員会の歩みと今後の活動について 宮本 雄策(聖マリアンナ医科大学 小児科)

17:15~17:20 閉会のあいさつ

田中総一郎(あおぞら診療所ほっこり仙台)